

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計 動向 関連	良くなっている	-	-	-	
	やや良くなっている	スーパー（財務担当）	単価の動き	・昨年より売上が既存店ベースで2%ほど上回っており、客の購入単価も200円上昇している。	
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・8月は天候・気温に恵まれ、特にお盆の期間1週間の売上が昨年と比べて15%伸びた。	
		観光名所（職員）	来客数の動き	・帰省客の増加によって例年より入場者数が増えた。	
	変わらない		商店街（代表者）	来客数の動き	・よさこい祭り・お盆の期間は人出があったが、それ以降、猛暑のため学生層・ファミリー層とも来街者数が減ってきている。
			一般小売店〔乾物〕（店員）	販売量の動き	・今年のお盆は、徳島を舞台にした映画の影響等で土産物が昨年より売れただけだった。
			百貨店（営業担当）	それ以外	・前年同月に比べ来客数、売上共に上回ったが、婦人・紳士共ファッション関連商品が苦戦した。クリアランスセールについても前年並みで推移した。
			スーパー（店長）	販売量の動き	・ガソリンの高値が続いていることが、売上高や買物の単価に影響している。
			コンビニ（経営者）	販売量の動き	・天気も良く暑い日が続いたので、飲料を中心に売上が伸びた。
			コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・客から「建設土木関係者は仕事がなく小遣いが減少、一般のサラリーマン、公務員は変わりがない」という声を聞く。コンビニエンスストア業界は、次々と出店があり、非常に厳しい状態が続いている。
			乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・ここ数か月新型車の発売もなく、来客数の変化はない。来場者の商談もあまり活発ではなく、買い換えに慎重である。
			乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・個人客は、前年を大きく割り込んでいる。法人客の受注は非常に伸びているが、トータルでは前年を下回る実績で、3か月前と比べても変わりがない。
			一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・県外客・帰省客などがあり一時的に潤った感がある。
			観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・ある程度、景気は良くなってきているが、客の数が増えない。地域の事情もあるが、8月のお盆前後は非常に良かったが、それ以外は昨年と比べて増えていない。
			都市型ホテル（経営者）	単価の動き	・来客数は若干増えつつあるが、単価は低く、全体的な売上は伸びない。
			旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・夏休みの多客期であり、国内・海外旅行共に件数・売上が伸びた。海外旅行はヨーロッパ・ハワイなど比較的遠隔地、国内旅行はテーマパークを中心に家族連れ申し込みが多かった。航空機の利用も多く、航空券の売上も大きかった。
			タクシー運転手	お客様の様子	・8月はよさこい祭り・お盆等の期間だけは良かったが、その前後は良くない。3か月前と比べて、客の様子もほとんど変わらない。地元の方は、何か月かぶりに飲み会や外食をしたという声が多い。
			通信会社（社員）	お客様の様子	・携帯電話の購入価格帯の構成比が、以前とあまり変わっていない。
			ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・今月は1年の内で、それほど来客数は期待できない月である。しかし、暑さの影響もあるが来場者の動きから、あまり景気的には変動はないと感じる。
			美容室（経営者）	お客様の様子	・来客数はやや回復の傾向が見られるものの、単価が低く全体としては改善されていない。
やや悪くなっている			一般小売店〔生花〕（経営者）	お客様の様子	・生花店を営んでいるが、8月は例年になく暑い日が続く花が日持ちしないため、あまり利用がない。また、お盆の墓参りでごみ持込禁止、持ち帰りの問題のため墓に持っていく花の量が減っており、やや不安である。
			百貨店（営業担当）	来客数の動き	・毎年8月はお盆の帰省でにぎわう人の動きがある。しかし、今年は昨年度と比較しても曜日配列の影響もあるかもしれないが、帰省客のにぎわいがほとんどなかった。

		スーパー（店長）	それ以外	・猛暑で昼間の客足が遠のき、夏物、殺虫剤、食品、飲料の売行きが不振であった。お盆商戦もあまりの暑さで不振であった。
		スーパー（店長）	単価の動き	・お中元の単価も昨年より落ちており、お盆に良く動く盛り合わせ寿司・オードブル・刺身盛り合わせなども単価の低いほうが中心となっている。
		スーパー（企画担当）	単価の動き	・8月に入って暑い日は続いているが、衣料品を中心にバーゲン価格での販売となり、単価が下がっている。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・連日の猛暑で秋物への切替えが進んでいない。併行して展開している夏物セールの再値下げにも客の反応は鈍く、前年を下回る状況が続いている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・お盆明けから動きが悪く、特に夜が暇である。あまり飲みに出ず、飲みに出ても電車等があるうちに早めに帰り、タクシーを利用しない。乗車しても近距離が多く、長距離・中距離の売上は伸びない。
		設計事務所（職員）	販売量の動き	・公共事業の発注量が今年度も大幅に減少している。特に県、市町村での減少傾向が著しく、価格競争の影響もあって受注額が確保できず、売上も大きく低下してきている。
	悪くなっている	通信会社（支店長）	販売量の動き	・客の動き・購買力共に低調で、全く活気がない。
企業 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・従来の問屋を経由した百貨店への販売から、専門店への直販割合が増加している。それらの専門店では消費者が好みの物を積極的に購入しており、消費動向に変化が見られる。
	変わらない	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・鉄鋼関係は依然受注が順調で、官公庁の入札も出てきた。しかし、一般ユーザーの動きは全国的に鈍く、仕事の引き合いが少ないことも影響している。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・都市部でのクレーンの稼働状況は繁忙状態が続いている。一方、郡部では低下傾向がみられ、地域格差は拡大傾向にある。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・競争がますます激しくなり、受注量が伸びない。
		通信業（営業担当）	それ以外	・大型量販店・大手スーパーの経営層との会話で、個人消費は回復しているが、売れ筋が高級品と安価な商品に二極化しており、まだまだ全体の底上げ感にはもう一歩という声を聞くことが多い。
		公認会計士	取引先の様子	・今月の各関与先法人の決算、月次の試算表等をみると、前年比で収入が伸びているところが30%に対し、あとの70%は昨年と同じか減少しており、利益も伸びていない。
	やや悪くなっている	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・素材が高騰しているにもかかわらず、小売価格が上昇しないので採算が悪化している。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・大手企業からの粉末製造装置の引き合いが続いたが、ここにきて、極端に少なくなった。
		輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・例年より2%強での荷動きがあったが、盆明けから落ちた。同業他社も同様の傾向である。
輸送業（役員）		受注価格や販売価格の動き	・客からの物流合理化や料金値下げ要請に加え、原油高騰の再燃により、収益を大きく圧迫している。	
不動産業（経営者）		取引先の様子	・同業者の話では、お盆過ぎ以降、チラシを配布、広告をしてもぜんぜん客が集まらない状況が続いている。	
悪くなっている	金融業（融資担当）	取引先の様子	・土木・木材関連の倒産が相次いでおり、さらに客の売上等についても下降傾向にある。	
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	求職者数の動き	・8月に転職希望者と新卒者合同の会社説明会を初めて開催したところ、予測以上の動員があった。お盆時期の開催もありリターン者、大手勤務の人材も多く見られ、企業側の満足度が高かった。
	変わらない	人材派遣会社（支店長）	求職者数の動き	・猛暑の影響もあり反応が鈍い。登録者は過去最低である。
職業安定所（職員）		求人数の動き	・新規求人数は、3か月前に比較してやや増加した。	

	民間職業紹介機関（所長）	求人数の動き	・求人数は、やや横ばいで推移している。4～5月にかけて中途採用で不足人数を充足できた企業も多く、春先と比べて求人意欲の減少が見受けられる。
	学校〔大学〕 （就職担当）	採用者数の動き	・夏休みの時期であり、求職者の活動が活発でない。
やや悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・県外からの進出企業のみが求人しており、そのような企業はパート雇用するくらいで地元経済に寄与していない。
	職業安定所（職員）	採用者数の動き	・昨年同時期、3か月前と比べても就職者数は減っている。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は対前年同月比でやや減少している。これで2か月連続のマイナスとなり、景気はやや悪くなっている。
悪くなっている	-	-	-